

真養だより

第101号 平成31年3月6日発行

PTA 会長あいさつ

PTA会長 佐々木 規文



今年度、新米PTA会長2年目になります。6月に北海道・東北地区の肢体不自由PTA連合会で岩手へ、8月には全国肢体不自由PTA連合会で福井へ、参加させていただきました。ただ9月に小樽で開催予定だった全道特P連が震災により中止になったのが残念でしたが、その中で福井大会での講演でオレンジキッズケアラボという施設の取り組みに衝撃を受けました。訪問医療の先生が立ち上げた地域を支える在宅医療を柱に医療ケアが必要な子供たちと家族を支える施設(チーム)です。いつかこの活動を札幌にもという思いができました。札幌でも医療ケアに関する活動が活発になることを願います。

昨年2018年の今年の漢字は『災』でしたね。ほんとに大きな災害の多い一年でした。6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、そして忘れもしない9月6日3時7分北海道胆振東部地震、まだ皆様もあの揺れを憶えていることでしょう。7月の西日本豪雨では私たちと同じ肢体不自由特別支援学校の岡山県立倉敷まきび支援学校が多大な被害を受けました。私は離れていても支えあって助け合っていきたいという思いで義援金を学校として募りました。たくさんの方にご支援いただきこの場を借りてお礼申し上げます。9月の震災はまさかと言う思いでした。北海道でこんな大きな地震が来るなんて…。明け方でしたが家族全員が目覚まし、もう寝られる状況ではありませんでした。電気が使えない状況がどれだけ大変か身に染みて感じたこと、これが昼間だったり極寒の冬だったらと思うとぞっとします。その後、防災対策に駆けずり回った方々もいたことでしょう。震災当日、いろいろと対応していただいた先生方にも感謝したいです。もし学校に子供たちがいる時だったら…。PTAでは防災座談会を開催し、貴重な意見やその当時の感想を出し合い今後の対策に。学校も防災対策委員会を作りPTAと連携し11月には子供たちと一緒に防災体験をして新たな発見がたくさん見つかり、より防災意識が高まりました。もしもの為に、地域との繋がりの大切さや防災知識をPTA活動として発信していければと思います。

<研修コーディネーターの活動>

今年度は皆さんからの『ショートステイがあるところ』『入浴サービスのある所』というご要望にお応えして二か所の施設を見学させていただきました。今後も皆さんの役に立つ施設見学を企画していきたいと考えていますのでご意見、ご要望をお寄せくださいますようお願いいたします。

(高等部1年P 木滑 ゆかり)

施設見学の感想

10月10日の施設見学に参加しました。初めに見学した幌西ほうおんは、中央区にありとても明るく清潔感のある施設でした。1階に作業所や食堂、それと地域の人と交流ができる喫茶店があり、2階にはいろいろな活動ができそうな広い部屋とまだ使われていなかったのですがショートステイの場所もありました。割と新しい施設ですが、地域の人との関わりをととても大切にしていました。その次のグリーンハイムは、石山にあり、場所は少し山の方ですが、とても大きな施設でした。こちらもキレイでしたが、利用している方の年齢層が高めでした。特に気になったのはデイサービスでのお風呂です。希望すれば毎日でも入れるというのはなかなかないと思いました。今回見学した2軒は、残念ながら自宅から遠かったのですが、とても参考になりました。

(中学部3年P 渡辺 佳子)



10月10日、小学部から高等部までの保護者で2つの事業所の見学にでかけました。1つ目の『幌西ほうおん』は生活介護の利用者さんはお出かけ行事に出ていて、活動の様子は見るできませんでした。建物は新しく明るく広々としているだけでなく、近隣の皆さんが利用できるカフェが併設されていたりして、とても魅力的でした。現在は本校の卒業生の在籍はないのですが(札幌、もなみの卒業生が多いそうです)、一足跳びとはいかなくとも、今後利用について個々に相談していけそうなお話でした。2つ目の『グリーンハイム』は広く事業展開している老舗の法人が経営している施設です。短期入所・生活介護を利用した時の料金や入所者の平均年齢、入所待機の状況など大変興味深いお話を伺うことができ、とても勉強になりました。息子も高等部生となり卒業後の生活が間近になってきているように思います。息子らしく過ごせることを目標に、実習や見学を行っていきたいと思います。

(高等部1年P 中谷 美香)

<環境コーディネーターの活動>

環境の主な活動は「雑巾収集」「校内ガラス拭き」「イオンのイエローシート募金」です。6月には保護者みなさんより沢山の雑巾やタオルなどを収集し校内の衛生のために活用して頂いています。7月にはイエローシート募金で頂いたギフト券でマット・肌掛け・布巾など子ども達が使用する物を購入させて頂きました。9月と2月には校内のガラス拭きを行いました。お忙しい中沢山の保護者のみなさんに参加頂き無事に終了しきれいになりました。ありがとうございました。そして12月11日に初の試みで「イオン藻岩店」にて保護者4名で店頭での募金活動を実施しました。思いがけずたくさんの善意を頂き充実した活動になりました。今後もイエローシート募金活動のご協力よろしくお願ひ致します。教職員のみなさん、保護者のみなさん今年度もご協力本当にありがとうございました。

(小学部3年P 河原 恵)

<広報・防災コーディネーターの活動>

広報 PTA だより「みんなの広場」を9月・3月に発行しました。第1号は全校生徒と教職員の写真や新入生のコメント掲載、第2号は卒業生の思い出を写真と共に紹介しました。今年度より全編カラー印刷とし、構成して頂いた先生みなさんの思いがより一層伝わる素敵な物になり、ありがとうございました。

防災 今年度「9月6日胆振東部地震」により大規模停電などさまざまな被害があり、やはり誰の身にも起こり得る事だと実感した年でした。今回の事を教訓に学校に協力願って「子供たちの命を守るため」どの様な防災活動が必要かを考える活動をしてきました。まず、発災後の9月末に保護者全体に

<災害アンケート>を実施しました。いろいろな事柄を記述式にし、たくさんの思いやご意見を頂きました。次にアンケートを元に<学校と保護者の座談会>を開催しました。校長先生より発災直後の学校の状況や取組みの説明・保護者より自宅での状況や思いを話し合い、「登校中に被災した場合」子供たちの命を優先にした防災活動はどうあるべきか、この座談会で方向性が見えてきた座談会となりました。では、実際に「停電」になった冬の学校はどのような状況か、保護者・先生そして子ども達も一緒に参加し

「11月半ばの放課後」に<防災体験・学習会>を開催しました。学校の防災設備の探検・確認、暗い中の車いすでの移動、防災食の試食などなど、校内の「寒さ」・「暗さ」を子どもと大人と一緒に体験出来き、有意義な活動でした。今年度の様々な活動をうけ、発災直後や特に冬について学校も決して安全・安心な場所ではなく、まだまだ「学校(国)」「PTA」「個人」それぞれが防災対策への意識を高める必要がある事に気づかされました。「PTAの防災対策」はまず備蓄品の見直しなど、学校の防災委員会のご協力や助言を頂きながら「子供たちの命を優先にした防災活動」を今後も継続していきたいと思ひます。



オリエンテーションで、災害時に大切なことを学びました。



保護者は、校内の給水設備や防災グッズと非常食の備蓄状況を確認しました。



子ども達は、宝探しをしながら防災クイズに挑戦しました。



夜の校内で、暗さや寒さを体験し、非常食の試食も行いました。



最後に、子ども達には防災マスターのメダルが贈られました。

<各学部の活動>

小学部

小学部では、7月20日(金)に「中学部ってどんな所?」と題して、中学部見学会を行いました。小学部の保護者12名と中学部主事高橋先生、小学部主事寺尾先生の参加でした。まず、高橋先生からスライド等で中学部の様子や概要を説明頂いて、質疑応答などをした後に、中学部を見学させて頂きました。実際の授業の様子や中学部のクラス編成、普段の生活では目にすることのない図書室や家庭科室なども見学させて頂きました。中学部見学会で、本当に近い将来に子ども達が過ごす様子が思い描かれ、有意義な会だったと思いました。(小学部2年P 松澤 真由美)

中学部

中学部では、7月に親睦会を行いました。新学期になり、新一年生も、転入された保護者のみなさんも少し落ち着いてきた頃。安達先生、高橋先生、愛澤先生をお招きして、学習、進学、進路、反抗期などにたくさんの話題でとても有意義な時間を過ごせました。学年を超えて保護者や先生方とゆっくり楽しく交流ができた親睦会になりました。今後も子ども達、保護者に寄り添う交流会をしていきたいと思えます。(中学部3年P 名越 里奈)

高等部

例年通り、親睦会と新年会の二度の交流の場を設けました。親睦会は、保護者が参加しやすいように、高等部体育大会の終了後にランチ会を企画、新しくできた話題のイタリアンレストラン「イル・ドーノ」にて、8名の参加のもと、楽しい時間を過ごしました。1月には、先生と保護者の交流となるよう新年会を開催、一次会は保護者9名、教職員11名の計20名参加。二次会は15名参加と、普段子どもを通して関わりながらも、直接お話しする機会の少ない他学年の保護者や先生方との時間を持ちました。お酒を飲みながらの、たわいのないお話を過ごす中で、とても貴重な良い時間を持つことができました。(高等部2学年P 石原 文枝)

<フレンド(保護者交流会)>

今年度は4回の交流会を開催しました。

1回目は<介助講習会>親が子どもを介助するための基礎やコツを学習する会。今年度も「楡の会」の介護福祉士の方をお招きし細かく丁寧に3時間教えて頂きありがとうございました。体が大きくなった中・高学部はもちろんですが、これから大きくなる子どもを想定し小学部の保護者もたくさん参加され有意義な学習会になりました。とても希望の多い学習会ですので今後も続けていきたいと思えます。

2回目は<給食試食会>「カレーうどん」お味はもちろん美味しい物でした。それに加え、今回は「お粥」「柔らか麺」「ミキサー食」など給食の変化した部分の説明と実際に旧ミキサー食と新ミキサー食を試食させて頂きました。とても美味しく子ども達に優しい給食に進化し感謝の思いです。栄養教諭・調理職員の方々の努力と思いを感じる給食でした。

3回目は<防災座談会・備蓄品試食会>4回目は<防災体験・学習会>です。内容は「広報・防災コーディネーター」の欄に掲載します。フレンドの活動内容は今年度も様々で学部問わず楽しく無理なく活動していきたいと思えます。(中学部3年P 横田 香里)

<おやじの会の活動>

環境整備

5月26日(土)におやじの会「環境整備」がありました。昨年度は行われなかった事業ですが、今年度は良いお天気の中、屋外の「夢」「愛」「心」「まこまない」看板とグラウンド付近の「タンポポ抜き」を行いました。看板は、今年も2名の公務補さんに木製の枠作りから準備していただき、当日は沢山の人の手でいねいに色付けをしました。おかげさまで学校の正面フェンスを飾る「夢」「愛」「心」「まこまない」の看板が色鮮やかに生まれ変わりました。毎年のように行ってきた環境整備「タンポポ抜き」の成果なのか、グラウンドのタンポポは少しずつ減ってきています。そのため、屋外のお仕事はタンポポに限らず雑草全般を抜きました。参加した皆さんのおかげで、雑草が無くなりスッキリとしたグラウンドになりました。ありがとうございます!夜はすすきの方面で懇親会がありました。新しい顔ぶれも加わり和気あいあいと交流を深めることができました。ご協力いただきました保護者、児童生徒のみなさま、ありがとうございました。

(おやじの会事務局 小柳博靖)



夏祭り

今回で17回目の開催となりました「PTA おやじの会夏祭り」。今年も天候に恵まれ多くの参加者で賑わいました。多くの協力者に支えられ、焼き鳥や焼きそばなどの各飲食コーナーは今年度も大盛況でお客さんを楽しませてくれました。また、今年も今年度真駒内養護学校に入学したニューフェイスの保護者の協力もたくさんあり、夏祭りの更なる発展も感じられました。ステージでは、例年のように「澄川精進笛会」様、「動・夢・舞」様によるよさこい演舞により会場中を巻き込んで盛り上げていただきました。また今年も初めて、フォルクローレグループ「Wayra Japan」様にも参加していただき、普段耳にすることが少ないアンデス民謡の演奏で会場を魅了していました。今年も多くの方々のご協力があり円滑に運営できたことを、この場を借りて改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。新しい風も少しずつ吹き、来年度も更に皆様に楽しんでいただける夏祭りになってほしいと思います。

(おやじの会事務局 菅原健太)

雪と遊ぼう

冬期休業中の1月12日(土)13日(日)におやじの会主催「雪山作り」「雪と遊ぼう」が行われました。13回目の参加となる東海大付属札幌高校野球部の皆さんは、今年も両日とも走ってやってきました。12日(土)は、お父さんや兄弟、職員を含め総勢90名ほどの皆さんで、グラウンドに積もった雪をならし、雪山やそりコース作りを行いました。「初めてそり遊びをする子もいるから」と、コースを滑らかに仕上げ、初級者用のそりコースを作るなど創意工夫をこらして築山やコース、かまくらなどを作ってくれました。13日(日)「雪と遊ぼう」当日は晴天となりまばゆいばかりの白銀の世界で絶好の環境となりました。そり滑りやかまくら体験、干支そりリレーのゲーム大会など、予定通り行われ屋外の活動を楽しむことができました。今年もSAWAウィンタースポーツアカデミーのインストラクター指導のもと、ハンディキャップスキーに挑戦した子ども達もいました。残念ながら体育館が使用できなかったため、会は午前中で終了となりました。あっという間の楽しい時間でした。2日間、のべ300名ほどの参加者を数え、今回の事業に多くの方々からご協力をいただき、本当にありがとうございました。

(おやじの会事務局 小柳博靖)



<ゴロ野球同好会の活動>

ゴロ野球同好会「真駒内ファイターズ」は、毎週金曜日、体育館にて仲間と楽しく活動しています。昨年度の大会では4位という結果でしたが、その悔しさをバネに、今年度は「優勝する！」という強い気持ちで練習を頑張ってきました。大会では、先制点を取られても絶対に諦めない力強さを発揮し、見事、優勝することができました。次年度も「みんなの力で、心一つに、優勝を目指して」頑張りますので、応援よろしく願いいたします。新しい仲間の加入、お待ちしております。

〈ゴロ野球同好会コーチ 土田 百恵〉



【編集後記】

皆様のご協力のもと、PTA 活動を無事に終えることができました。今年度も学習会や交流会、事業所見学などを行い、子ども達の進学や将来に向けて学び、語り合う有意義な時間を過ごすことができました。来年度も皆様のご要望にお応えできるように取り組めますので、ご協力お願いいたします。学習会や交流会の参加も心よりお待ちしております。「真養だより」発行にあたりまして、ご協力いただきました職員の皆様、保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。

(小学部4年P 小田 靖香)

【編集担当】

P 横田香里・名越里奈・大西真結美・原睦実・岡朋子・町野忍・村澤真由美・高橋弥生

T 高橋米華

【題字】

高等部3学年のみなさん



北海道真駒内養護学校 P T A

〒005-0011

北海道札幌市南区真駒内東町2丁目2番1号

TEL 011-581-1782 (代表)

FAX 011-581-1892

ホームページ <http://www.makomanaiyougo.hokkaido-c.ed.jp>